

寒冷地対策-❄️タイプ／凍結防止対策

寒冷地対策 - ❄️タイプ

❄️給水器具を指定している都市では、給水の水抜きが要求されます。自治体の指導に従ってください。

❄️製品は通常製品に比較して、簡単に水が抜けるということで、決して凍結を防止することではありません。
※必ず水を抜いて凍結による器具破損を防止してください。

(普通タイプとの比較例)

エアフラッシュ	普通	水抜き用空気ネジなし
	❄️	水抜き用空気ネジ付

※❄️製品→寒冷地対策品 (通称❄️)

寒冷地使用器具

各自治体で寒冷地使用の器具が指定されている地区は、❄️エアフラッシュを用意してありますので、ご発注の時指定してください。

①❄️エアフラッシュ (水を抜く場合は取扱説明書をご覧ください)

凍結防止対策-1

ロンクリーンを冬でも快適に使っていただくために、ヒーター方式の凍結防止ユニットを発売しております。
暖地で普通タイプをお使いの場合でも凍結のおそれがあるときは、水抜きをするかトイレ室内を暖房して、タンクや給水器具を破損から守ってください。

ヒーター方式 (Fタイプ)

凍結による器具破損につながる箇所を、ヒーターで加熱保温する方式です。ただし、便皿部分の加熱はありませんので、-5℃を限度としてください。
-5℃以上に下がる地方は室内暖房と併用してください。

①密結型ロータンク

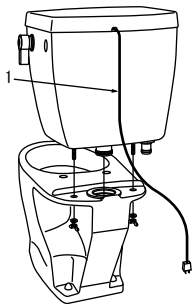
●水中ヒーター使用のもの

機種別	洋式	LR-570F LR-570HF DX-570F
		DX-570HF DXAK-570F DXAK-570HF DXR-700HF DXR-700F

電気用品仕様

NO.	部品名	規格	サーモ感知温度
1	水中ヒーター	100V16W	30℃ off 20℃ on

- ・室温-5℃まで耐えられます。
- ・水タンク内の水の凍結を防止するため、カーボンヒーターで水タンクの水中から加熱保温しています。



NO.	オプション部品	部品名	数量	トイレ内使用限界温度 -5℃まで
1	AZ-12300	水中ヒーター	1	
		インシュロックタイ	2	

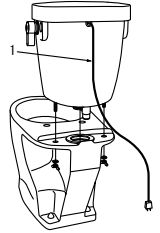
●水中ヒーター使用のもの

機種別	洋式	DXP-5070F・DXP-5070HF
-----	----	----------------------

電気用品仕様

NO.	部品名	規格	サーモ感知温度
1	水中ヒーター	100V16W	30℃ off 20℃ on

- ・室温-5℃まで耐えられます。
- ・水タンク内の水の凍結を防止するため、カーボンヒーターで水タンクの水中から加熱保温しています。



NO.	オプション部品	部品名	数量	トイレ内使用限界温度 -5℃まで
1	AZ-12300	DX-260・DXP用ヒーター	1	
		インシュロックタイ	2	

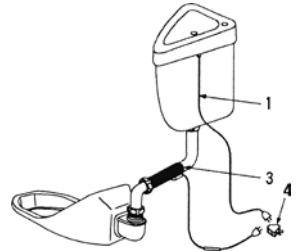
②隅付型ロータンク

機種別	和式	DX-260F
-----	----	---------

電気用品仕様

NO.	部品名	規格	サーモ感知温度
1	水中ヒーター	100V16W	30℃ off 20℃ on
3	管ヒーター	100V19W	14℃ off 7℃ on

- ・室温-5℃まで耐えられます。
- ・水タンク内の水の凍結を防止するため、カーボンヒーターで水タンクの水中から加熱保温しています。



NO.	オプション部品	部品名	数量	トイレ内使用限界温度 -5℃まで
1	AZ-12312	DX-260・DXP用ヒーター	1	
3		インシュロックタイ	2	
		管ヒーター	1	
4		二口コンセント	1	

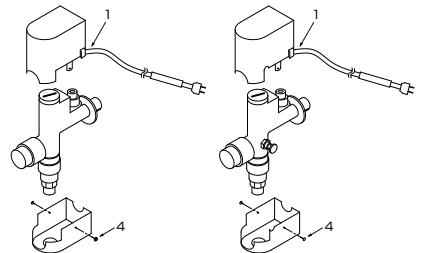
③エアフラッシュの場合

機種別	和式	LJ-660F
	洋式	LJ-760F・LJ-760HF・LJ-777F・LJ-777HF
	小便器	LU-170F・LU-370F

電気用品仕様

NO.	部品名	規格	サーモ感知温度
1	エアフラッシュ用ヒーター	100V3.3W	14℃ off 7℃ on

- ・室温-5℃まで耐えられます。
- ・エアフラッシュ内の水が凍結しないよう、コードヒーターで加熱保温しています。



NO.	オプション部品	部品名	数量	トイレ内使用限界温度 -5℃まで
	AZ-12320	保温カバー	1	
		保温材	1	
1		エアフラッシュ用ヒーター	1	
4		タッピングビス (φ4×6)	2	

※❄️エアフラッシュ用もありますのでご利用ください。

凍結防止対策-2

水抜き方式

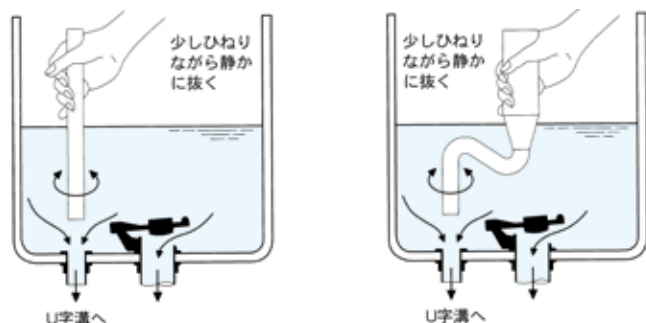
①水タンク式のもの

●密結及び隅付型タンクの場合

水タンクの水を抜く時は止水栓を締め（給水管の水を止める）、タンク内のオーバーフロー管を少しひねりながら引き抜きますと、水はオーバーフロー管を通り、U字溝または不凍帯へ流れます。なお、洗浄管内の水を抜くためタンクが空になってから2～3回レバーをひねってください。

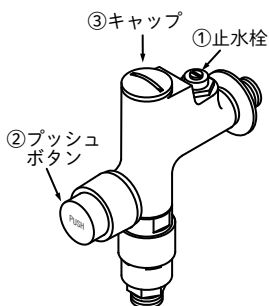
〔極寒地水抜き方式〕

水タンクへの給水系統の凍結対策として、室内暖房と水抜き方法を併用してください。



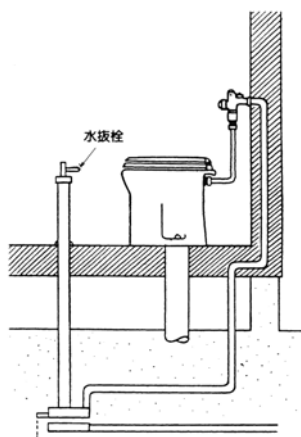
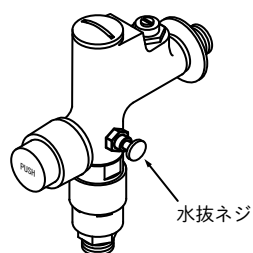
②エアフラッシュの場合

- ①の止水栓を完全に閉じてください。
 - ②のプッシュボタンを押してください。
 - ③のキャップをコイン等で回してはずしてください。
 - もう一度②のプッシュボタンを数秒間押し続けると、内部の水が抜けます。
- ※ゴミを掃除する場合は1～4の後、③に付いているネットをよく水洗いしてください。



③窓エアフラッシュの場合

- 水抜きネジを締めて、水を出した状態にしてください。
- 右図の水抜き栓を締めてください。
1. 2で自動的に配管内の水が抜けます。



※水抜き栓は販売していません。市販品をご使用下さい。

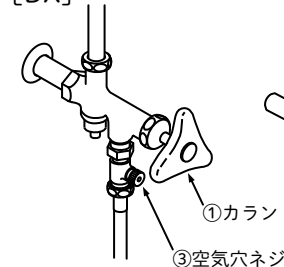


給水管は立ち上げ配管をして下さい。上方からの給水管に接続しないで下さい。凍結のおそれがある地域で、寒冷地用エアフラッシュの水抜きをしても器具内に水が残る破損することがあります。

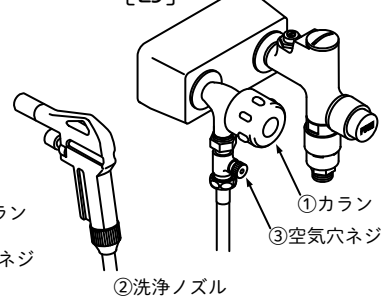
④洗浄ノズルの場合

凍結の恐れがある地区は、水抜き付きをご使用ください。

[DX]



[LJ]



②洗浄ノズル

*凍結地方は水抜きタイプをご指定ください。

- ①のカランについている③空気穴ネジをゆるめ、②の洗浄ガン先端を便器内に向けてみるのみのようにして、ホース内の水を水が出なくなるまで抜いてください。



冷えきった陶器や、凍結した給水器具に、急に熱湯をそそぐと割れることがあります。また逆に水タンクが空で、ヒーター（F用ヒーター）等で熱せられている時は、冷水を入ると割れることがあります。必ずぬるま湯をそそぎ、急熱、急冷をしないようご注意ください。

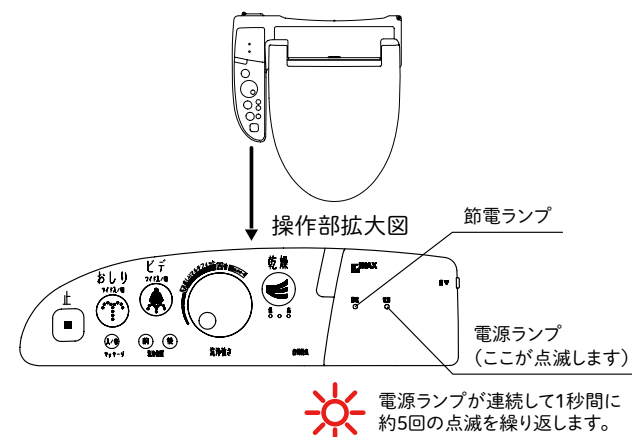
マルチシャワー（MCシリーズ）についてのお知らせ

シャワートイレ点検時期

お知らせ表示（タイムスタンプ機能）について

2001年以降に発売したシャワートイレには点検時期をお知らせする（タイムスタンプ機能）を製品に搭載しています。シャワートイレは電気製品ですので、安全のために定期的な点検が必要です。

製品を使用開始してから約10年が経過すると、本体の電源ランプが点滅し、点検時期が来たことをお知らせするものです。お知らせ表示の点滅自体は故障を示すものではありませんが、点滅を止めるためにはLIXILによる安全点検が必要です。有料点検サービスをご用意しています。LIXILフリーダイヤル番号（0120-179-400）又は最寄りの販売店へお問い合わせ下さい。



電源ランプが連続して1秒間に約5回の点滅を繰り返します。



※MA、MBシリーズは点検ランプが点灯します。



水タンクに洗浄剤、芳香剤（ブルーレット）等の薬品を使用しないでください。洗浄時に流す水量が少なく設定されています。薬品を使用すると水タンクの中の濃度が濃くなり、プラスチックやゴムを痛め水漏れの原因になります。